



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

3月8日 RiJi カフェ OPEN

理事とおいしいアイスクリームを食べながらお話しませんか？

3月8日の国連「国際女性の日」を記念し、学内の女性の一層の活躍にむけて、理事と女子学生・女性教職員との懇談会をカフェ形式で開催します。女性ならではの多様な視点から、香川大学の現状や改革にむけた提案など、それぞれの夢や希望を気軽に語り合い、深めあいましょう。

★日時：平成24年3月8日(木)

16:00～17:00

★場所：本部棟4階 大会議室

★対象：香川大学の全ての女性

(学生、常勤／非常勤教職員)

参加ご希望の方は

男女共同参画推進室 (832-1055/sankaku-

room@kagawa-u.ac.jp)までお申込みください。2月末日締切 皆さんのご参加お待ちしております。

クイズ

皆さん、理事の名前、何人知ってますか？

労務担当

教育担当

総務・研究担当

評価・社会連携担当



A理事



B理事



C理事



D理事

☆ 答えは最後のページに掲載



目次:

RiJi カフェ	1
アンケート	2
病児移送サービス	3
WLB講演会	4
第2回女性研究者フォーラム	5
HPRリニューアルなど	6

国際女性デーとは？

1904年3月8日にアメリカ合衆国のニューヨークで、女性労働者が婦人参政権を要求してデモも起こし、これを受けて1910年「女性の政治的自由と平等のためにたたかう」記念日とするよう提唱したことから始まった。

Wikipediaより

実施時期：平成23年11月

実施：男女共同参画推進室

回収数：581枚

男女比：男性35%・女性65%

職種：①教員11.7%

②医師9.5%

③事務職員31.2%

④附属学校教員6.0%

⑤医療職員30.1%

⑥その他11.5%

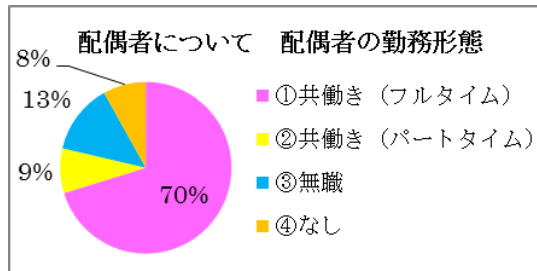


ハンドブックやHPで
両立支援情報提供中

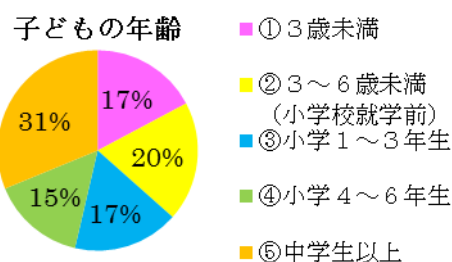
「子育てに関するアンケート」報告

～皆様、ご協力ありがとうございました～

「子育てに関するアンケート」にご協力をありがとうございました。581件の回答が寄せられ、香川大学の教職員は共働きが79%と高いことがわかりました。また、回答者の37%が就学前の子どもを持ち、32%が小学生の子どもがいて答えています。

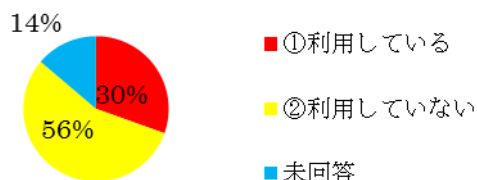


安心して教職員が働き続けるためには、保育園や学童保育等の子育て支援の社会資源が欠かせません。また、育児休暇をはじめ、育児短時間勤務制度や早出遅出勤務、フレックスタイム制勤務等、柔軟な働き方が選べることも大切です。



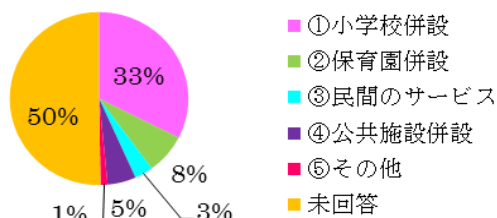
学童保育への意見もたくさん寄せられました

地域の学童保育を利用していますか。
もしくはしていましたか。



地域の学童保育の利用状況では、30%の人が利用していると答えています。その多くは小学校併設の施設を利用しており、33%いました。その次は、保育園併設の施設の利用で8%、民間のサービスの利用が3%と、状況に応じ、様々な選択がなされていることが解ります。

どの学童保育施設を利用していますか。
もしくはしていましたか。



また、「どのような学童保育の支援があなたには必要と考えますか」という問いに対しては、「台風や急な下校の時も保育してほしい」「休日にも利用できること」「長期休暇時（夏休み、冬休み、春休み）の利用」「7:00～19:00」「時間延長ができる」「利用料金の低価格化」などが出されました。また、一番強かった要望としては、「小学6年生までみてほしい」が多くみられました。

☆ 高松市では、現在、4年生以降も学童保育対象年齢とする方針が出されましたが、受け入れについては、各施設の保育可能人数に応じる形になっています。

休日の託児についてのご意見

本年度、夏休みには短期の学童保育を実施し、10月からは、入試時の休日出勤時の託児を実施しました。それに対して「試験時の託児の場合は集合時間が早いと、預かり開始時間を出勤時にあわせて欲しい」「預ける場所が幸町のみだったら、ほかのキャンパスの職員は利用するのが難しいと思う」「昼食を出してほしい」などの要望が寄せられました。

休日の保育への希望状況

1/14（土）センター入試 29

1/15（日）センター入試 28

2/25（土）一般入試 17

お風邪の季節、病児移送サービス、ご利用ください

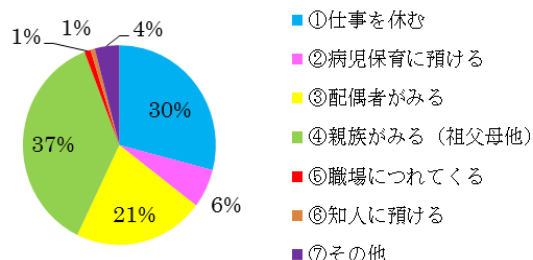


子育てと仕事の両立で困るのは、子どもが病気になったとき。教職員に尋ねたところ、「祖父母他親族がみる」37%、「仕事を休む」が30%、「配偶者がみる」が21%でした。「病児保育に預ける」割合は、以外と低く6%でした。

水疱瘡やはしか、インフルエンザなど、治癒に長くかかる疾患は、長期休みを引き起こし、仕事に支障が出るため大きな負担になりがちです。

香川大学では、昨年から民間の子育てタクシーを利用した病児移送サービスを実施しています。経費はかかりますが、どうしても困った時のセーフティネットとしてご利用いただけます。利用には登録が必要です。男女共同参画推進室へお気軽にお問い合わせ下さい。メールで書類をお届けします。(内線1055)

子どもが病気の時、主にどうしていますか？



【記述の回答から】

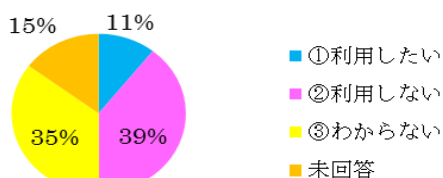
☆子どもが病気の時、どうしていましたか。

- ・一度病院に受診し、その後一人で留守番させている。
- ・夫婦で半休を取り、交代で看病する。
- ・退職して育児していた。

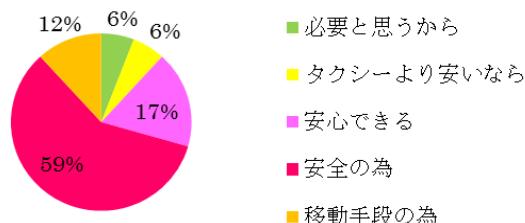
☆「学内の病児移送サービスを利用したいと思われた理由」を尋ねると

- ・勤務上どうしても休むことができない。
- ・仕事に穴をあけなくて済むので、とても助かります。

病児移送サービスを利用したいと思いますか。



利用したいと答えた方で経費がかかっても利用したいと思われた理由をお聞かせください。

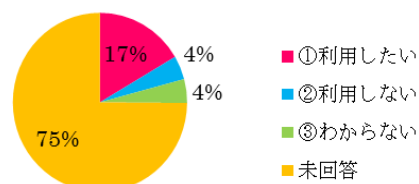


医学部キャンパスに病児保育施設が新設

平成24年度には医学部キャンパスに病児保育施設が新設されます。長年の職員の声がありました。三木町には、病児保育施設が全くない状況の中、遠くの病児保育施設へ送迎しなくてはならず、心労・苦労が絶えない状況が続いていました。

病児移送サービスと病児保育施設の選択肢が増えることで職員の多様なニーズに応える体制ができました。今後、開設時期・運用についての検討がなされる予定です。

学内で病児保育所が開設されたら、利用したいですか。



小室淑恵氏 プロフィール

株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長。多種多様な価値観が受け入れられる社会を目指して邁進中。ワーク・ライフ・バランスに関する著書多数。内閣府「仕事と生活の調和連携推進・評価部会」委員など複数の公務を兼任。2009年より金沢工業大学客員教授に就任。一児の母の顔を持つ。

小室淑恵氏 最新刊紹介



「全員成果を出して定時で帰る会社の毎日楽しく働く秘訣」中央公論新社



「小室淑恵の即効プレゼン術」学研マーケティング

男女共同参画推進室

WLBポスター完成しました



経済学部4回生デザイン
懐かしいコンセプトです。

ワーク・ライフ・バランス講演会 開催報告

2月1日（水）、株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長の小室淑恵さんを招いて、ワーク・ライフ・バランス講演会を開催しました。当日は予想を上回り100人を超える参加がありました。これもワーク・ライフ・バランスに対する意識の高まりの表れだと感じます。



参加者は、学内関係者だけでなく、今回の講演がきっかけでワーク・ライフ・バランスという人生の選択肢があることを知ったという市民の方、実際にワーク・ライフ・バランスを推進する立場でお仕事に携わっている企業の方など多種多様でした。小室さん

は、持ち前のプレゼン力で聴講者を引き込み、それぞれの立場から、ワーク・ライフ・バランスを見直していこうと思えた講演でした。

講演後のアンケート（回収数54）でも、「非常に参考になった」・「参考になった」と答えられた方が全体の96%を占め、参加した多くが参考にしたいと回答しています。



ワーク・ライフ・バランスの重要性を知り、新しい未来像を見出した学生の方、今の生活を見直し、改善させていこうと思われた社会人の方、パートナーにWLBの働きかたを勧めようと思った主婦の方など、ワーク・ライフ・バランスという考え方を知り、今の仕事や暮らしを振り返るきっかけを得たことも、今回の講演の大きな成果となりました。

「長時間労働が良い」という古い日本社会が持ってきた価値観では、ワーク・ライフ・バランス＝仕事をせずに家庭ばかりを大切にすることと誤解しがちです。小室さんは講演の中で、時給や経費を含めた時間単価と作業効率、作業実績の関係などを説明しながら、その誤解を一つひとつ丁寧にほぐし、効率の良い働きかたの普及こそが、優秀な人材の定着とモチベーション維持には必要不可欠であり、継続して利益を上げられる組織づくりの鍵となり、ワーク・ライフ・バランスのめざす効果であることを示しました。小室さんの講演により、アンケート回答者全体の81%がワーク・ライフ・バランスや働き方の見直しに「取り組みたい」と前向きに回答されており、新しい価値基準を肯定的に受け止められたようです。

小室さんの実践のように、素晴らしいワークとライフの相乗効果を生み出し、充実した日々を輝いて過ごせることが一番の理想ですが、個々の置かれている厳しい現状の中で、ワーク・ライフ・バランスを停滞させる原因は何かを突き止め、求める状況に少しでも近づけようと思えるきっかけづくりのお手伝いができればと思います。ワーク・ライフ・バランスは、今日からでも意識すれば少しずつ実践できると思います。皆さんも仕事や勉強の能率を上げるためにも、時間の大切さを意識し始めませんか？

第2回四国女性研究者フォーラム報告

四国女性研究者フォーラム

1月27日（金）に愛媛大学 南加記念ホールにて第2回四国女性研究者フォーラムが開かれ、本学からは本事業に関わる男女共同参画推進室員、研究協力グループ員、登壇者も含め、6名が参加しました。

基調講演「女性研究者の活躍に向けて」文部科学省高等教育局長 坂東久美子氏

現代社会は、多様で優秀な人材の参画と活躍が必要であり、アジアにおいても変化のスピードは増してきている。日本では女性にとってまだまだ仕事と家庭の両立が困難。仕事か家庭生活の片方を減らすのではなく、自分と時間をうまくコントロールして、相乗効果を出していく「ワーク・ライフ・バランス」が求められている、とまとめられました。

特別講演「世界化学年と女性研究者」神戸大学特別顧問 相馬芳枝氏

講演ではマリー・キュリーの生涯に始まり、現在の世界の女性科学者の活躍について紹介され、若手の女性研究者にエールを送りました。科学技術の発展には、多様性が必須であり、女性の参加は多様性の指標、活気の漲る日本に繋がると力強いメッセージがありました。

パネルディスカッション「若手研究者が輝く大学とは」



本学の教育・学生支援機構 西本佳代先生も登壇され、“若手研究者が輝く大学とは”をテーマに、四国の国立5大学の男女5人の若手研究者がパネルディスカッションを行いました。5人のパネリストは、研究者としてのこれまでの歩みに続いて、大学に対して望むことについて発表し、日ごろは伝えられない現状を訴えました。研究の場の確保、結婚や育児・介護の問題、キャリア形成など、若手の研究者ならではの様々な問題を抱えながら奮闘されている姿がうかがえました。

最後の質疑応答の中で、「受け入れる大学側の支援や育成の体制作りが求められる」と愛媛大学の柳澤学長からも発言があり、若手が元気に活躍し、研究を活性化していく上で、大学として必要な点が浮かび上がってきた、大変実りあるフォーラムになりました。



マリー・キュリーって誰？

マリヤ・スクウォドフスカ=キュリー(1867-1934)は、ポーランド出身の物理学者・科学者。キュリー夫人として有名である。放射線の研究で、1903年ノーベル物理学賞、1911年ノーベル化学賞を受賞し、パリ大学発の女性教授職に就任。放射能という用語は彼女の発案によるもの。



Wikipediaより

赤ちゃん連れで～トイレのおむつ交換シート設置～



大学で赤ちゃんのおむつ替えに困った方に吉報です！大学会館1階多目的トイレに「おむつ替えシート」を新設します。また、男女共同参画推進室に設置した「香大っこルーム」も引き続きご利用いただけます。ファミサポを利用した個人の託児や学会時の託児としても利用可！また、推進室にはソファベッドをご用意しております。授乳室、妊産婦の方の休憩室としてご活用ください。もちろん、子育てに関係ない方もお弁当を食べにお気軽にお立ち寄りください。

この他「ベビーシッター割引券」、「子育てタクシーを利用した病後移送サービス」、「休日出勤時の無料託児」など、様々なサービスをご用意しています。HPやお電話などでお気軽にお問い合わせください。子育て中の悩みが少しでも軽くなるよう、男女共同参画推進室がお手伝いいたします！

出産・育児・介護中の

男性研究者にも研究補助者を配置



男女共同参画推進室では、科学技術人材育成費「女性研究者支援モデル育成事業」を活用し、平成22年10月より自然科学系女性研究者のさらなる研究の促進をめざし「研究補助者」を配置しています。

最終年の平成24年度は、すべての分野の女性研究者及び配偶者が大学等で研究に従事している男性研究者にも支援対象が拡大され、全学から15名（内男性研究者2名）の応募があり、2月15日に実施した男女共同参画推進室員会議での審議の結果、申請者15名全員に配置が決定しました。

安心安全な大学環境をつくるために



～ハラスメント相談員研修会を開催しました～

平成24年2月13日、「ハラスメント相談員研修会」が開催されました。ハラスメント相談員は、各部署の教職員の中から男女2名が選ばれ、ハラスメント相談に対応しています。任期は2年ですが、あらゆるハラスメントに関する相談の最初の窓口として活躍しています。「ハラスメント相談員を委任されたけれど、相談にどう対応したらいいかわからない」「どこまで責任を持てばいいのか」「相談者の二次被害を防ぐためにどうしたらいい」などの声に応える形で、研修会が開催されました。男女共同参画推進室でも、今後も、安心安全な大学環境整備にむけて、相談対応・啓発活動を進めて参ります。

男女共同参画推進室ホームページをリニューアル

いつも男女共同参画推進室ホームページをご覧いただきありがとうございます。このたび、ホームページをリニューアルしました。トップページをすっきりし、見やすくしました。過去のニュース・レターやシンポジウムなどの学内外イベントや、ワーク・ライフ・バランスに役立つ情報が盛りだくさん。ぜひ、ご活用ください。

ホームページはこちらから⇒ <http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>



理事の名前クイズ 答え

- A: 高木健一郎理事(労務担当、男女共同参画推進室室長)
 - B: 有馬道久理事(教育担当)
 - C: 板野俊文理事(総務・研究担当)
 - D: 大平文和理事(評価・社会連携担当)
- ☆3月8日の「RiJi カフェ」に、ぜひともいらしてください。



olive・heart

香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087（832）1055
内線：1055
FAX：087（832）1057
電子メール：

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>